



消防だより

有田川町消防本部 ☎52,595,00
 吉備金屋消防署 ☎52,595,50
 清水消防署 ☎25,124,3

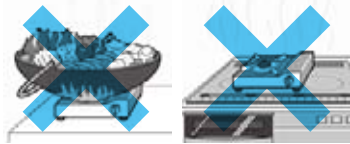
火災……………2件
 救急……………242件
 救助……………2件
 (平成28年2月29日現在)

昨年の出動など(累計)

カセットコンロ事故に注意しましょう!

厳しい冬の寒さも和らぎ、窓から吹き抜ける風にも暖かさが感じられる季節になって、桜が咲き誇り花見のシーズンを迎えました。屋内・外でカセットコンロを使用する場合は、取扱説明書を必ずお読みいただくとともに次の取り扱い注意事項を遵守してください。

- 取り扱い注意事項
- ・ 電磁調理器上で使用しない。
- ・ 大きな調理器具を使用しない。
- ・ コンロに指定されているボンベを使用する。
- ・ 調理以外の用途に使用しない。
- ・ 石綿やセラミック付きの魚焼き器



を使用しない。

- ・ 2台以上並べて使用しない。
- ・ カセットボンベは表示どおり正しくセツトする。
- ・ ごとくを外したまま使用しない。
- ・ テントや車内で使用しない。
- ・ 廃棄の際はガスが残っていないことを確認して地域の取り決めに従い廃棄する。



- ・ カセットボンベを40度以上になる車内などに置かない。
- ・ カセットボンベを火の中に投げ入れない。
- ・ ストーブの近くで使用しない。
- ・ カセットコンロやカセットボンベの経年劣化を確認する。

気をつけて! お風呂の事故



年間約1万9,000人の高齢者が入浴中の浴槽内で死亡しています。冬の寒い時季も終わり、事故発生率も低くなりますが、まだまだ気温の変動が大きいこの時季、安全対策を確実にし、身体を休める入浴を心掛けましょう。

安全対策

- 入浴前に脱衣所や浴室を暖めておきましょう。
- 温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することで失神し、浴槽内で溺れる場合があります。
- お湯は41度以下で、湯につかる時間は10分以内を目安に長湯をしないようにしましょう。
- のぼせてほうつととするなどの意識障害が起こると、やがて体温は湯の温度まで上昇し、熱中症になる恐れもあります。
- 浴槽から、急に立ち上がらないようにしましょう。
- 入浴する前に同居者に一声かけ

て、見回ってもらいましょう。

- 転倒防止に手すりを設置しましょう。
- 体調が悪い時、お酒や睡眠薬を飲んだ後は入浴を控えましょう。

特に高齢者の場合、食後に血圧が下がりがりすぎる食後低血圧によつて失神することがあります。

ゆっくり出浴

浴槽で急に立ち上がると立ちくらみ・失神を起こし、浴槽内に倒れて溺れる危険があります。浴槽のへりに腰をかけるなどしてゆっくりと立ち上がりましょう。

もしも…

お風呂でぐったりしている人や溺れている人を発見した場合は

- ① 浴槽内から救出して119番に通報。
- ※ 浴槽から救出できない場合はお湯の栓を抜きましょう。
- ② 救急車を待っている間に救命処置。

※ 反応がなく呼吸をしていない場合は、胸骨圧迫・人工呼吸をしてください。

